

ありがとう6年生 「たくさんプライド」いつまでも

3月23日(水)の卒業式で、6年生165人が、託麻南小学校を巣立っていきます。本校38回目の卒業生となります。

最高学年として迎えた今年度も、新型コロナ感染対策を行いながらの日々でいろいろな制約があり、もどかしい思いを持ちながらの日々だったことだと思います。しかし、そのような中でも、各委員会の活動や最後となった運動会でリーダーシップを発揮し、朝のボランティア活動では、あいさつ運動や校庭の掃き掃除に取り組むなど、よりよい学校づくりのための6年生としての自覚を下学年の人たちに示してくれました。立派に成長し卒業していく6年生に、感謝の気持ちでいっぱいです。これまで、学校のリーダーとして活動してくれて本当にありがとうございます。

3月4日(金)は、事前に収録した「6年生を送る会」の動画を各学級で視聴しました。各学年から6年生への感謝の気持ちを込めた出し物(寸劇・歌・ダンス・感謝の言葉など)が収められていましたが、



在校生からの動画 (2年生)

どの学年も工夫を凝らした心温まる内容でした。在校生へのお返しとして、6年生からのメッセージも動画で流されました。また、6年部の先生方からも、卒業生への励ましの言葉が送られました。動画での会とはなりませんが、学校のすべての児童と職員心が一つになる時間となりました。

いよいよ4月から中学校生活が始まります。「たくさん」で学んだプライドをいつまでも忘れず持ち続けて、これから先、すばらしい人生を力強く歩んでいくことを願っています。がんばれ、卒業生！

「迷惑をおかけしました」 新型コロナウイルス感染拡大防止のための休校

新型コロナウイルス感染第6波は、10歳未満と10代の子どもたちへの感染拡大が目立ちました。託麻南小学校でもかなりの影響が見られました。本校の感染状況に関する情報を熊本市教育委員会・保健所と共有しながら、感染拡大を防ぐために、必要に応じて学級閉鎖や学年閉鎖等の



6年部の先生方より励ましの言葉



6年生からのメッセージ

措置を行ってきたところです。

本校の特徴としては、1月の下旬から2月の第1週目にかけて、1回目の感染拡大の山があり、その後、4週間ほどは、比較的落ち着いた状態が続きました。3月の第2週目から2回目の感染拡大が始まりました。3月12日(土)、13日(日)にも、かなりの数の感染確認の報告が入り、翌14日(月)も感染の連絡が続きました。当日の風邪症状を理由とする欠席が相当数見られたこと、感染が複数学年に亘っていたことなどを勘案し、学校全体への感染拡大を防ぐために、3月15日(火)から3月21日(月)までの休校措置という苦渋の判断を行いました。

学校では、基本的な感染対策(マスク着用、手洗い、換気等)の徹底、給食時の黙食などを続けるなど、細心の注意を払ってきたところですが、このようなことになり誠に申し訳ありませんでした。

学年末のまとめの時期、特に6年生にとりましては、卒業前の大切な日々での休校ということになりました。また、児童育成クラブの閉鎖や所属するクラブチームの練習や大会、習い事など多方面にご迷惑をおかけすることになりました。さらに、急な連絡となりましたので、保護者の皆様のお仕事にも影響が及んだことだと思います。重ねて、お詫び申し上げます。

学校では、さらに気を引き締めて感染対策に取り組んでまいります。間もなく春休みに入りますが、家庭や地域でのくらしにおいても、子どもたちが感染防止を心がけた生活ができませんように、引き続き言葉かけをお願いいたします。